オンラインシステム NACISIS-CAT ニュースレター

学術情報センター [〒112-8640 東京都文京区大塚3-29-1]

目録情報課

図書目録情報係	TEL:03(3942)6983, 6984	FAX:03(3944)7131
雑誌目録情報係	TEL:03(3942)6985, 6986	FAX: 同上
相互協力係	TEL:03(3942)6987, 6988	FAX: 同上
共同利用課	TEL:03(3942)6933, 6934	FAX:03(3942)6797
システム管理課	TEL:043(285)4914, 4915	FAX:043(290)1380

目 次

1. 新CAT/ILLシステム説明会の開催報告	2
2. 「目録システム利用マニュアル」登録編・検索編第4版の刊行	3
3. 「目録システム コーディングマニュアル」累積版の刊行	3
4. 韓国・朝鮮語資料の登録方法	4
5. 重複書誌に対する注記(雑誌)	5
6. SCANコマンドの応答時間の改善	6
7. BLDSC外部依頼レコードの処理	6
8. 個別版CD-ROM提供サービス 平成10年度募集	9
9. 会議開催報告	16
10. 「新CATクライアントシステム作成のためのガイドライン(第2版)」正誤表	17
11. レコード調整	19

新 CAT/ILL システム説明会の開催報告

学術情報センターでは、新目録所在情報サービスの普及を図るため、新 CAT/ILL システム説明会を下記の全国 7 会場で開催しました。

各会場とも図書館のシステム担当者をはじめとして、合計約 1,200 名にのぼる方々の参加がありました。実際の開発事例の報告ということで、各図書館が新 CAT/ILL システムへの対応を進める上での、参考にしていただけたものと思います。

会場を手配いただいた大学の関係者の方々、また、各会場で開発事例を発表いただいた関係者の方々には、この場を借りてお礼申し上げます。

[会場，開催日]

地区名	開催日	会場
北海道地区	平成 10 年 2 月 26 日 (木)	北海道大学
東北地区	平成 10 年 2 月 24 日 (火)	東北大学
関東・甲信越地区	平成 10 年 3 月 10 日 (火)	東京医科歯科大学
中部地区	平成 10 年 3 月 3 日 (火)	名古屋大学
関西地区	平成 10 年 2 月 18 日 (水)	京都大学
中国・四国地区	平成 10 年 2 月 19 日 (木)	徳島大学
九州・沖縄地区	平成 10 年 2 月 27 日 (金)	熊本大学

[内容]

- (1) 学術情報センターでの開発状況 (学術情報センター目録情報課)
 - ・新システム移行スケジュール
 - ・新 CAT/ILL システム対応業者
 - ・学術情報センター開発クライアント
- (2) 大学図書館での開発事例 (京都大学または佐賀大学の担当者)
 - ・図書館システムの構成
 - ・開発の経緯
 - ・実際のクライアントによるデモンストレーション
- (3) 国立大学図書館協議会での開発事例 (同協議会次期システム専門委員)
 - ・同委員会の概要・活動
 - ・CATP クライアントの仕様作成
 - ・CATP-Auto (新 CAT 自動登録システム) の紹介
 - ・ドキュメントデリバリシステムの構想

なお、配布資料等は WWW でも公開する予定です。

(図書目録情報係)

「目録システム利用マニュアル」検索編・登録編第4版の刊行

第4版では、検索編第3版(平成4年3月31日発行)及び登録編第3版(平成5年3月17日発行)以降に行われたシステムの改善を反映しています。今回の第4版の主な改訂点は、以下のとおりです(詳細については本文の「このマニュアルについて」を参照してください)。

- 参加組織情報の表示及びメンテナンス機能の説明を追加した
- 総合目録データベースの即時更新に伴う変更点を反映した
- 検索用インデクス及び検索キーの説明を変更した
- 総合目録データベースの和洋ファイル統合に伴う変更点を反映した
- CPYNT フィールド及び、雑誌ファイルのSHフィールド、図書・雑誌ファイルのSHフィールドのヨミの説明を追加した
- リンクフィールドの自動更新に伴う変更点を反映した

(図書目録情報係)

「目録システム コーディングマニュアル」累積版の刊行

「目録システム コーディングマニュアル」については、オンライン・システムニュースレターの付録として、逐次刊行するという形態をとってまいりましたが、長期間にわたる刊行の結果、初期作成分と最新刊の部分とでは、形式、用語等の面で不統一が生じてくるようになりました。また、内容自体についても、昨年4月の和洋ファイルの統合等、多くの点で改訂が必要とされてきました。

上記のような事情から、今回の改訂に当っては、従来のように改訂部分のみを刊行するのではなく、既刊分全体について改訂を加え、累積版として刊行し、全面的に差し替えていただくことにしました。今回の累積版の主な改訂点は、以下のとおりです。

- 和洋ファイルの統合、VOL分割の廃止、TTLL, TXTL フィールドの入力レベル必須化に伴う変更点を反映した
- 項番号がふられていなかった箇所に新たに項番号を付与するなど、形式、用語面での統一を図った
- 以前の改訂履歴を削除した

(図書目録情報係)

韓国・朝鮮語資料の登録方法

『目録情報の基準』2.2.1(4)では、韓国・朝鮮語資料の当面の登録方法の一つとして、日本語への翻訳形での登録という方法を示していますが、この方法で登録した場合、翻訳形にユレが生じ、書誌の同定作業に支障を来す恐れがあるとの問題点が指摘されていました。そこで、平成9年度の総合目録小委員会において検討を重ねた結果、今後日本語の翻訳形で登録する場合は、以下のような規則に従ってデータ記入を行うことにいたしました。

1. ハングル表記を漢字表記、カタカナへの翻字または日本語への翻訳によって置き換えた場合は、置き換えた部分を角括弧で囲みます。
2. 置き換えた部分については必ず注記することにします。したがって、置き換えに関する注記がなく、単に角括弧に囲まれている場合は、補記であると判断されることとなります。置き換えた部分が補記である場合は、置換えを行い、かつ補記も行ったことを注記することとなります。

以下に例を示します。

例) データ要素の一部が置き換えられている場合

TR:韓国古代国家形成時期[の]考古学的研究

NOTE:本タイトル中の[の]はハングル表記

データ要素全体が置き換えられている場合

PUB:[釜山]

NOTE:出版地はハングル表記

補記でもあり置き換えでもある場合

PUB:[ソウル]

NOTE:出版地はハングル表記、前書きによる補記

置き換えが複数のデータ要素に渡る場合

TR:[セキル]新書

PUB:[ソウル] : [セキル]

NOTE:本タイトル中の[セキル]、出版地及び出版者はハングル表記

置き換えたデータ要素、エリアが多岐に渡る場合

NOTE:情報源の表示はハングル表記を含む

なお、これは、韓国・朝鮮語資料の正式な登録方法が決定するまでの、暫定的なものであるということをご了承ください。

(図書目録情報係)

重複書誌に対する注記（雑誌）

この度、雑誌書誌レコードにおいても、図書書誌レコードと同様、重複書誌であるため削除対象レコードであることを示す注記を記録することにしました。

この注記があるレコードは、将来、削除されるレコードですので、所蔵の登録を行わないでください。

[注記の形式]

1番最初のNOTEフィールドに記録する

NOTE: @@@999999999,YYMMDD==>AA99999999

センター管理番号

入力日付

付替先書誌ID

(西暦年の下2桁+6桁の一連番号)

[理由]

センターにて重複レコードと判断した書誌は、速やかに重複統合の処理を行っていますが、学術雑誌総合目録全国調査実施時には一部レコードについて「削除予定レコード」への修正ができなくなる期間があります。（現在は、本誌60号でお伝えしたとおり、1997年8月14日以前に登録された洋雑誌が修正できません）

その間、目録担当者がどちらのレコードを採用するか判断がつかず、削除対象となっているレコードに所蔵を登録してしまう可能性があります。

今回は特に、昨年4月の和洋統合により大量の重複書誌が生じていることもあり、利用館の混乱及び削除すべき書誌への所蔵登録を回避するため、センターでは、削除対象レコードであることを示す注記を今後上のように記録することにします。

なお、この注記はセンターのみが記録することとします。各参加組織の目録担当者は記録しないでください。

これらの書誌レコードに関する問い合わせは、NOTEフィールドに記録されたセンター管理番号と書誌レコードIDにてお願いします。

(雑誌目録情報係)

SCAN コマンド使用時の応答時間の改善

総合目録データベースのサーバ移行（平成9年1月～）により、SCAN コマンドの使用時にエラーが発生し、ILL レコード絞り込みができない等、皆様から多くの改善要望をいただいております。（本誌 58 号）

この対策は平成9年度中のシステム改善で行うこととしておりましたが、平成10年2月26日に性能改善を実施しました。これにより SCAN コマンド実行時の応答時間が、約 1/5 ほどに短縮され、タイムアウトの発生が減少するようになりました。

ILL レコードの RNWDT（レコード更新日付）による SCAN では、おおむね 9,000 件程度まで実行可能です。ただし、改善後の性能は母集合の件数だけでなく SCAN するフィールドの平均データ長および SCAN 後のヒット件数に大きく依存しています。データ長・ヒット件数によりタイムアウトとなる場合がありますので、実行にあたってはこれらの点にご留意ください。

しかし依然として、多量の検索集合に対する SCAN 実行は、サーバに多くの負荷をかけることに変わりはありませんので、ILL の統計作成等はできるだけ別の方法で行ってくださいようお願いします。

（相互協力係）

BLDSC外部依頼レコードの処理

平成6年度より開始した、ILLシステムからBLDSCへの外部依頼機能は、利用数も年々増えておりますが、トラブルなどが発生することも時々あります。

今回は依頼時および依頼後の処理について、今後の参考になるような事例を紹介します。

なお、BLDSC外部依頼機能に関する説明や注意事項は、本誌のほか、操作マニュアル等にも掲載されていますのであわせてご利用ください。

(1) BLDSC転送データの内容

依頼レコード（図1）をORDERまたはCHASEし、状態が「未処理」または「回答待」に移ると、翌業務日に以下のような転送データ（ARTTel2様式、図2）が作成され、ARTTel2によりBLDSCへ送られます。右にILLレコードのフィールド項目との対応関係もあわせて示します（図3）。

```

複写依頼詳細表示
>:
<LA0000210572> 準備中 OMLNM:学情 OMLNID:FA012943
ACCT:pb TYPE:電子複写 SPVIA:          ONO:98-001  ANO:          PRMT:
BIB:TESL Canada Journal.(ISSN=0826435X).
VLNO:6      PAGE:68-83      YEAR:1989
ARTCL:Swain, M "Manipulating and complementing content teaching ...."
HMLID:BLDSC  HMLNM:          LOC:          VOL:          CLN:8796.25700  RGTN:
BVRFY:BOSTON SPA SERIALS          HVRFY:
CLNT:相互太郎          CLNTP:工学部教授
ODATE:19980223
CMMNT:BACKUP
OSTAF:学情一郎 共同利用課情報・資料係 TEL=03-3942-6937 FAX=03-3944-6797
OLDF:
OLDAF:
OADDR:〒112-8640 東京都文京区大塚3-29-1 学術情報センター 管理部共同利用課情報・資料係御中
    
```

図1 依頼レコード画面例

```

TX LA0000210572 PHOTO ONLY BACKUP
TESL Canada Journal.
1989 6 68-83
Swain, M "Manipulating and compleme...."
ISSN=0826435X
8796.25700
SOR:BOSTON SPA SERIALS
    
```

図2 BLDSC転送データ例

```

TX LA番号(12) PHOTO ONLY CMMNT(11)
BIBNT(120)
YEAR VLNO PAGE(18)
ARTCL(80)
STDNO(40)
CLN(40)
BVRFY(36)
    
```

図3 対応するILLレコードのフィールド項目

1. ARTTe12様式：1データ12行以内，1行40バイト以内，英数字のみ。
1行目（TX行）には，依頼番号・複写/貸借別・メッセージコード。
貸借依頼の場合は，1行目の「PHOTO ONLY」が「LOAN」となります。
2. ILLレコードの各フィールド項目カッコ内の数字は，ARTTe12に対する基本入力可能バイト数です。
3. <BIBNT>，<STDNO>については，本誌No.60「ILLシステムに関する質問から」を参照してください。

(2) トラブルが発生したら...

BLDSCへの依頼で発生したトラブルには，ILLレコードの処理を伴う場合と伴わない場合とがあります。

◎ILLレコードの処理を伴う場合

以下の事例では，依頼内容を追加したり，コメントを入力するなどして依頼レコードをシステムに再送信（CHASE）します。

① 依頼からかなり経過したが何の応答もない

→ CMMNTに「CHASER」（BACKUP指定時は「BACKUP CHASER」）と入力して送信（CHASEコマンド）。

※ CHASERは依頼日から4週間（BACKUP指定時は8週間）経過後に行います。

（ただし，依頼日から6ヶ月を過ぎるとBLDSC側で受け付けられなくなります。）

※ 「Chaser Team」（BLDSCの窓口）へ書面で直接問い合わせることもできます。

複写依頼したはずなのに現物が送られてきた

このような処置を今後希望しない場合は、代理店を通じてBLDSCへ要請する。

BLDSC側の判断でこのような処置がなされることがあります。

ILLレコードについては、

- 1) 複写依頼のままでよい：通常の確認処理を行ってください。
- 2) 貸借依頼に切換えたい：相互協力係にお問い合わせください。

ILLレコードの処理を伴わない場合

届いた資料が不完全（不鮮明、一部欠落など）

「Chaser Team」宛に電話、FAXまたはE-mailで問い合わせる。

電話：+44 1937 546433

FAX：+44 1937 546203

E-mail：dsc-chaser-team@bl.uk

届いた資料が依頼内容と違う

包装物の宛名で「Chaser Team」の後に「WRONG ITEM」と付記しChaser Teamへ資料を返送する（資料には何も書き込まない）。

BACKUP LIBRARYから届いた資料は、BACKUP LIBRARY宛に同様に返送する。

(3) その他

支払区分（料金入力）を間違えたので修正したい

前掲の転送ファイル対象データ以外のフィールド項目（ANO除く）の修正は、依頼館の任意で行うことができる。修正後は、SAVEコマンドでレコード内容を保存する。

フィールド修正可能なレコード状態は、「準備中」、「外部依頼中」、「照会」および「借用中」（ただし、コマンド（ORDERまたはCHASE）送信日の翌日午前中の「外部依頼中」レコードは、転送作業時間帯のため修正できないことがあります）。

小数点計算ができないため、料金入力ができない

上記にもあるとおり、料金内訳は任意に定義できる。

例1：QNT、UPRCEなどには入力せず、OLDAF（依頼館ローカル会計データ）フィールドに入力する（自由形式）。

例2：平成10年2月末現在、クーポン1ユニット998円のところを便宜上1000円とみなし計算する。

4.5ユニットの依頼について、QNT=45、UPRCE=100と入力（ユニットは10倍に計算、単価を1/10で計算）

(4) BLDSC依頼機能の関連記事等

- ・ ILL操作マニュアル第3版 p.161-180
- ・ 本誌 No.40, 42, 43, 44, 46, 54, 58, 59（WWWで公開、No.40～54はマニュアルでも掲載済）
- ・ BLDSC刊行物等
 - 「International Customer Handbook (for JAPAN) 1st Edition 1996」
 - 「A guide to coded replies for international automated customers revised list 1997」

（相互協力係）

個別版 CD-ROM 提供サービス 平成 10 年度募集

「個別版 CD-ROM 提供サービス」の平成 10 年度募集を、以下の要領で行います。
サービスの概要は、本誌本号に添付したパンフレットをご覧ください。

1. サービス提供条件

1) 対応機種及び OS

- NEC-9801VX 以降に発売された PC-98 シリーズで MS-DOS バージョン 3.3 以上
- IBM-PC またはその 100% 互換機で DOS/V バージョン 5.0 以上

2) 対象機関

- 目録所在情報サービスの参加組織（学総目参加機関を含む）

3) 収納対象

- 総合目録データベースに登録された図書・雑誌の書誌・所蔵データ
- 図書のみ，雑誌のみでも受け付けます
- 和洋別の作成はできません

4) 作成単位

- 単一の参加組織，またはいくつかの参加組織からなるグループ（機関全体や大学と短期大学の集合など）。ただし，後者の場合はグループに属する全ての参加組織の同意が必要です
- 他の機関の参加組織を含めたグループも可能ですが，この場合は，対象機関の同意書 [別紙 4] が必要です
- 配置コード単位でも作成できる場合があります

5) 収納件数

- 上記作成単位の平成 10 年 3 月末現在の収納所蔵件数の合計が 12 万件を限度とします

6) 提供頻度

- 年 4 回，または年 1 回

7) 提供セット数

- 同一の CD-ROM を最大 5 セットまで

8) 提供時期

- 受諾書において個別に通知します

9) 提供価格

対象件数	1 セット単価	2 ~ 5 セットの単価
3 万件以下	10,000 円	5,000 円
6 万件以下	20,000 円	10,000 円
9 万件以下	30,000 円	15,000 円
12 万件以下	40,000 円	20,000 円

(注1) 対象件数は、平成10年3月末現在の収納所蔵件数

(注2) いずれも1セットあたりの消費税込みの価格です

(注3) 例えば、作成対象件数が3万件の機関が年4回(5セット)申し込む場合、

$$4 \times (10,000 + 5,000 \times 4) = 120,000$$

で、12万円となります

10) CD-ROMの保証期間

- 提供するCD-ROMについては、通常の使用で一年間保証します。通常の使用で障害が生じた場合は、一年以内であれば無償で交換します

2. 申込締切

平成10年4月30日(木)必着

3. 申込方法

別紙申込書(別紙1-4)に記入の上、下記にお送りください

4. 申し合わせ先

〒112-8640 東京都文京区大塚 3-29-1

学術情報センタ - 事業部目録情報課相互協力係 気付

財団法人 電気・電子情報学術振興財団

電話 (03)3942-6987, 6988 (直通)

F A X (03)3944-7131

個別版CD-ROM提供サービス申込書

平成 年 月 日

財団法人電気・電子情報学術振興財団
理事長 殿

申込機関名

印

個別版CD-ROM提供サービスを次のとおり申し込みます。

申 込 者	機 関 名				
	住 所				
	経 理 責 任 者	職 名		フリガナ 氏 名	----- 印
	連 絡 担 当 者	職 名		フリガナ 氏 名	----- 印
	電 話 番 号 等	電話： ()		FAX： ()	
申 込 条 件	作 成 対 象 参 加 組 織 コ ー ド	FA	FA	FA	FA
		FA	FA	FA	FA
		FA	FA	FA	FA
	対 象 デ ー タ	☐ 図 書	☐ 雑 誌		
	提 供 頻 度	☐ 年 1 回 ☐ 年 4 回		セ ッ ト 数	
	使 用 機 種				
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・複数機関で申し込まれる場合はその機関名を記入してください。 ・作成対象参加組織コードが書き切れない場合は、本欄に記入してください。 				
				受付番号	

請求記号の付与方法

機 関 名				
抽 出 対 象	項番	参加組織コード	項番	参加組織コード
	1	F A	6	F A
	2	F A	7	F A
	3	F A	8	F A
	4	F A	9	F A
	5	F A	10	F A
請求記号の付与方法				

1. 抽出対象

申込書に記載した作成対象参加組織コードを記入してください。

2. 請求記号の付与方法

参加組織や参加組織コードや資料種別・配置コード等により複数の方法を採用している場合は、各々について最も多く使われている方法の順に記入してください。

本調査は、請求記号順のブラウザ画面における、並び順を決定するために使用します。ただし、付与方法が複数ある場合は、請求記号が必ずしも順番通りに並ばないことがありますので、あらかじめご了承ください。

請求記号の付与方法（記入例）

機 関 名	学術情報センター			
作 成 対 象 参 加 組 織 コ ー ド	項番	参加組織コード	項番	参加組織コード
	1	FA012943	6	FA
	2	FA012127	7	FA
	3	FA	8	FA
	4	FA	9	FA
	5	FA	10	FA
請求記号の付与方法	<p>1. FA012127の全てとFA012943の配置コード「参考」以外 NDC 著者記号 所在場所 (a) NDC NDC分類記号（小数点以下も最大2桁まで展開） (b) 著者記号 主標目の頭文字1字+数字（最大3桁） (c) 所在場所 所在場所名（省略の場合あり）</p> <p>【例】 014.3 M12 目情課</p> <p>2. FA012943の配置コード「参考」 参考 NDLC 著者記号 順序数 (a) 参考 固定文字 (b) NDLC NDLC分類記号 (c) 著者記号 主標目のローマ字形の最初の3文字 (d) 順序数 巻数（最大3桁）あるいは年度（西暦4桁） - 枝番（最大2桁）</p> <p>【例】 参考 UP111 Tou 1993-1</p>			

1. 抽出対象

申込書に記載した作成対象参加組織コードを記入してください。

2. 請求記号の付与方法

参加組織や資料種別・配置コード等により複数の方法を採用している場合は、各々について最も多く使われている方法の順に記入してください。

本調査は、請求記号順のブラウザ画面における、並び順を決定するために使用します。ただし、付与方法が複数ある場合は、請求記号が必ずしも順番通りに並ばないことがありますので、あらかじめご了承ください。

支払書類調査票

支払書類名	書 類 宛 名	部数
見積書		
納品書		
請求書		

・支払に必要な書類の部数および書類の宛名を記入してください。

[別紙4]

平成 年 月 日

[申込機関名等] 殿

[対象機関名]

[職・氏名]

印

個別版CD-ROM作成に関わる同意書

貴機関による個別版CD-ROM提供サービス申し込みにおいて、当機関のデータを使用することに同意いたします。

会議開催報告

[平成9年度第3回 総合目録小委員会]

[日時]

平成10年1月29日(木) 13:30~17:00

[議事]

1. オンライン・ジャーナルの取り扱いについて
2. 雑誌コーディングマニュアルの作成について
3. コーディングマニュアル著者名典拠(日本名以外:団体)について
4. 中国語資料の取り扱いについて

[平成9年度第4回 中国語資料データベース化検討ワーキンググループ]

[日時]

平成9年12月11日(木) 13:00~18:30

[議事]

1. ヨミ・分かちの規則について
2. 書誌・著者名典拠レコードの作成基準について
3. 書誌記述の基準について
4. 雑誌書誌レコードの作成基準について
5. 記号類の転記の原則について

[平成9年度第5回 中国語資料データベース化検討ワーキンググループ]

[日時]

平成10年1月28日(水) 13:30~20:30

[議事]

1. ヨミ・分かちの規則について
2. 書誌・著者名典拠レコードの作成基準について
3. 書誌記述の基準について
4. 古籍の取り扱いについて
5. 統一書名典拠レコードの作成基準について
6. 記号類の転記の原則について

[平成 9 年度第 6 回 中国語資料データベース化検討ワーキンググループ]

[日時]

平成 10 年 2 月 16 日 (月) 13:30 ~ 18:30

[議事]

1. ヨミ・分かちの規則について
2. 書誌・著者名典拠レコードの作成基準について
3. 書誌記述の基準について
4. 統一書名典拠レコードの作成基準について
5. 記号類の転記の原則について

上記 3 回のワーキングでは、これまでに提起された問題点を継続して審議するとともに、検討結果のまとめの作業に入りました。検討結果については、次回の総合目録委員会において報告する予定となっています。

(図書目録情報係)

新 CAT クライアントシステム作成のためのガイドライン (第 2 版) 正誤表

本誌前号 (No.61) の付録として掲載しました「新 CAT クライアントシステム作成のためのガイドライン (第 2 版)」に一部誤りがありましたので、お知らせいたします。

3.9 リンクの参照 (p8)

(誤)

リンク参照の種類
NAME ↔ NAME
NAME ↔ BOOK
NAME ↔ SERIAL
NAME ↔ MEMBER
TITLE ↔ TITLE
TITLE ↔ BOOK
TITLE ↔ MEMBER

(正)

リンク参照の種類
NAME → NAME
NAME → BOOK
NAME → SERIAL
NAME → MEMBER
TITLE → TITLE
TITLE → BOOK
TITLE → MEMBER

(図書目録情報係)